



デンタル ニュース



明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

2014年、明けましておめでとうございます。今年もどうぞ、当院を宜しくお願いたします。さて、寒くなり風邪やインフルエンザが流行る時期になりました。風邪の予防といえば真っ先に思いつくのが「うがい」ですね！皆さんは、うがいという言葉の起源がどこから来ているかご存知ですか？答えはなんと「鵜飼」です！そういえば、いったん魚を飲み込んで吐き出す鵜の姿に似ていますよね。さらに驚くことに、「うがい」という習慣は日本独自の物なのだそうです。海外でも口の中を洗うために、すすぎはしますが、喉を鳴らしてガラガラパッ！とするのは、どうやらマナー違反なのだそうです。同じく風邪予防のマスクも日本独特の物らしいですね。なんでも、ある外国人が、「自分に風邪が移らないためではなく、自分の風邪を人に移さないためにマスクをする」という日本人のマナーの考え方に感動したとテレビで言っていました。みなさんも日本独特の風邪予防法で、寒い冬も健康的に乗り越えましょう！

たんぽぽ歯科からお知らせ



今年もよろしくお願いたします。



[http:// www.tanpopo - dc.com/](http://www.tanpopo-dc.com/)

たんぽぽ歯科

住所 海老名市河原口3-20-12 西山ビル

電話 046-235-2233

診療科目 一般歯科、小児歯科、
歯列矯正、審美歯科、
インプラント、予防検診、
3Mix 法、フッ素塗布

モバイルサイト



携帯サイトは
こちらから



子ども歯周病にかかるの！？

★大人だけの病気ではない！？

歯周病は中高年の病気というイメージが強くありますが、実は子供でも歯周病にかかっていることがあります。2005年の厚生労働省の調査では、なんと、2人に1人のこどもが歯周病の初期症状にかかっており、4人に1人の子供に、歯周病の原因となる歯石が付着していることが分かりました。



★こどもの歯周病の種類は？

■萌出性歯肉炎

永久歯が生えるときにおこる歯肉炎です。一時的なもので、歯が生えるに従っておさまる場合がほとんどです。あまり気にする必要はありません。

■不潔性歯肉炎

歯みがきで、うまく磨けていない部分にプラークが溜まって、歯ぐきの発赤・腫脹・出血・痛みがおこります。歯のまわりのプラークを歯ブラシで取り除くことで治ります。

しかし、出血が怖かったり痛かったりして、きちんとブラッシングをしないと、治りが遅れてしまったり、再発する恐れがあります。

■思春期性歯肉炎

思春期に多い歯肉炎です。主な原因は、歯のまわりのプラークとブラッシング不足ですが、ホルモンの変調がその進展に影響を与えていると言われています。歯肉の著しい腫脹と出血が特徴的傾向です。

■若年性歯周炎

13～15歳で発症してしまう歯周病です。中高年で発症する通常の歯周炎とは異なり、進行がとても速いのが大きな特徴です。罹ってしまうと、中々治りにくい怖い歯周炎です。若年性歯周炎の場合、家族のなかに同じ症状を示す人がいることもあります。

★歯周病の予防方法

子供の歯周病の原因として最も多いのは不十分な歯みがきです。小さなお子様には、しっかり仕上げ磨きを、そして自分で歯みがきをするお子様には、歯みがき指導を行ってください。



子供のうちは進行した歯周病である「歯周炎」にかかる事はあまりありませんが、予防処置や治療をせずに放置しておく、やがて病状は進行していきます。歯みがきの他に、3か月に一度は必ず歯科検診にお越しいただき、健康で丈夫な歯を育てていきましょう！

